

生駒市 教職員の 働き方改革に 関する ワークショップ 実施報告書

【概要版】

平成30年8月
生駒市



目 次

| | |
|----------------------------|----|
| I ワークショップ開催概要 | 1 |
| II 各ワークショップの内容 | 2 |
| 1. 第1回目 | 2 |
| 2. 第2回目 | 6 |
| 3. 第3回目 | 9 |
| III まとめ..... | 14 |
| 1. 仕事の整理とアイデアの結果..... | 14 |
| 2. アイデアのまとめ..... | 15 |
| 3. 長時間労働を脱出する！ための〇か条 | 16 |

I ワークショップ開催概要

【趣旨】

生駒市学校教育のあり方検討委員会（H30年4月設置）にて教職員の働き方改革について検討するための、情報を収集・整理する。そのため、学校や幼稚園での教育における、働き方の側面からの課題を整理、具体的な取組みを考える。

【方針】

- ・アンケート調査結果（H30年6月集計予定）を活用し、そこからさらに問題を掘り下げていく。
- ・問題の背景にある構造を「見える化」し、課題を共有した上で、解決のためのアイデアを考える。
- ・「各自が（一人でも）すぐにできること（超短期）」「職場・学校で共有して取り組むこと（短期）」「制度として改革が必要なこと（中～長期）」等を意識しながら意見を出す。どんなアイデアも原則として排除しないスタンスで話し合う。
- ・コーディネーターからは、各回の冒頭にヒントになるようなお話しと、閉会時にワークの内容についてのコメントを簡単にさせていただく。

【参加者】 教職員（小学校12人、中学校8人） 20人
合計20人

【ワークショップの実施概要】

●第1回目

日時 : 平成30年8月10日（金）9時30分～11時30分
場所 : 生駒市役所 4階 大会議室

●第2回目

日時 : 平成30年8月17日（金）9時30分～11時30分
場所 : 生駒市役所 4階 大会議室

●第3回目

日時 : 平成30年8月21日（火）9時30分～11時30分
場所 : 生駒市役所 4階 大会議室

Ⅱ 各ワークショップの内容

1. 第1回目

(1) 目標

- ・チームビルディングをする
- ・各自のやりがいや、抱えている理想と現実のギャップを振り返る
- ・課題を洗い出す

(2) ワークの内容

- ・アイスブレイク「教室あるある」
- ・二人組で各自の「やりがい」や、「理想」と「現実」のギャップを語り合うワーク
- ・グループ再編（席替え）
- ・課題出しと整理

※小／中学校混合のグループ編成でスタート⇒途中で小／中学校それぞれ別のグループへ再編成

(3) プログラム

- ・開会
- ・コーディネーターよりお話し
- ・アンケート結果の概要報告
- ・ワークショップ
 - 導入
 - ペアのワーク
 - グループワーク
 - 発表
 - コーディネーターからのコメント
- ・閉会・アンケート記入

(4) 成果

小学校教職員1班



小学校教職員2班



第1回ワークショップの様子



2. 第2回目

(1) 目標

- ・仕事を洗い出し、整理する

(2) ワークの内容

- ・仕事の洗い出し・整理
- ・対策を考える

※小学校は前回終了時のグループ編成を基本、中学校は1つのグループに合体

(3) プログラム

- ・コーディネーターよりお話し
- ・進め方の説明
- ・ワークショップ
 - 仕事の洗い出し・整理
 - 対策を考える
 - 発表
 - コーディネーターからのコメント
- ・閉会・アンケート記入

(4) 成果

小学校教職員1班



第2回ワークショップの様子



3. 第3回目

(1) 目標

- ・共有された課題に対して、アイデアを考える
- ・取組み時期（超短～短～中長期）で整理する

(2) ワークの内容

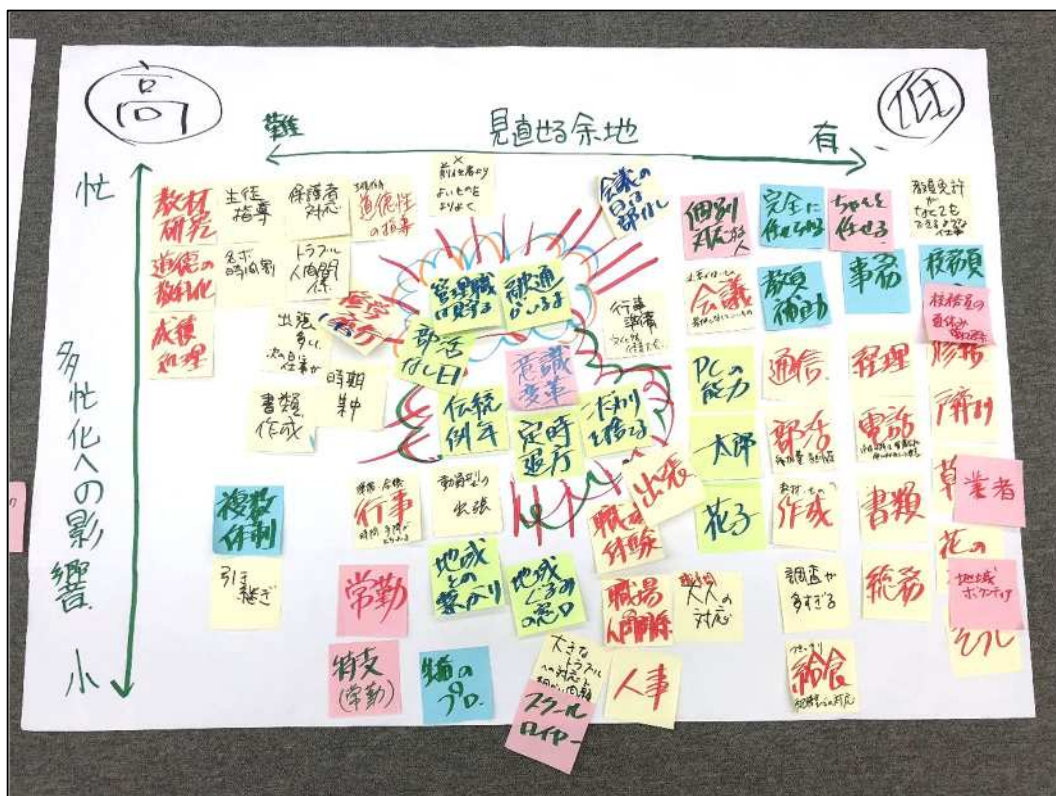
- ・アイデア出し
- ・アイデアの充実
（席替え）
- ・アイデアの確認
- ・取組み時期や取組み方（主体）を考える

※前回終了時と同じグループ編成

(3) プログラム

- ・コーディネーターよりお話し
- ・進め方の説明
- ・ワークショップ
アイスブレイク
前回の振り返り
アイデア出し
発表
コーディネーターからのコメント
- ・閉会

中学校教職員



第3回ワークショップの様子



Ⅲ まとめ

1. 仕事の整理とアイデアの結果

小学校教職員、中学校教職員により出された仕事の整理とアイデアの結果は以下の通り。

| | | 見直せる余地 | | |
|---------|---|---|---|---|
| | | 見直しは難しい | 余地は少しはある | 見直せる余地が大きい |
| 多忙化への影響 | 大 | ノートのチェック コミュニケーションのためのノートの作成 教材研究 教材共有 保護者対応 教材研究 生徒指導 成績処理 人間関係のトラブル 道徳の教科化 | ALT 教師間の打合せ時間 新カリキュラムに向けての準備 行事 名簿、時間割 書類作成 出張 | 要録 通知表、テスト等の作成 プールの水質管理、設備点検、修繕 教材研究(特に英語) パトロール ICTの環境 健康診断、指導要綱、出席簿の手書き 電気代、水道代の報告 茶道体験 ふるさとミュージアム ゴミの計量 部活 教員免許がなくてもできるような様々な仕事 経理、修繕、戸締り、草刈、花の水やり、掃除、総務、書類作成 |
| | 中 | 大きなトラブルの対応と細かい問題の対応 保護者の対応 道徳性の指導 | 丸つけ データ入力 部会で話し合ったことを会議に出す(二度手間) 特別教室の管理 修学旅行 行事準備(文化祭、体育大会) | 床のワックスかけ 草刈 生き物の世話 交通安全指導 避難所の運営 |
| | 小 | 保護者関係の希薄 情報は拡散しやすい 保護者にきめ細かい対応が要求される 引き継ぎ | 保護者対応、日々の連絡帳の対応 親の帰宅時間に合わせた電話、面談対応 | 対応の方法の相談 給食の失敗 備品の整理(管理) 報告書 アンケート 職場間の大人の対応 |

青字:小学校教職員 赤字:中学校教職員 緑塗:解決のためのアイデア

2. アイデアのまとめ

小学校教職員、中学校教職員から出されたアイデアを取組期間、主体で以下の通り再整理する。

教職員が主体的に取り組むこと（★印）は、個々人の意識改革から始めることができることと、複数人、もしくは学校全体で取り組まなければならないことがある。また、特定の学校だけではなく、市の全ての学校と一緒に取り組まなければ進めにくいという意見もあった。

教職員主体では解決が難しい、外部の手を借りながら解決していくべきことも挙げられており、これらは教職員だけではなく、中長期的に時間をかけて検討する場を設ける必要がある。

| | 小学校 | 中学校 |
|-------------------|--|--|
| すぐにできること | <p> こだわりを捨てる★ 帰る時間を決める★ 率先して自ら早く帰る★ 掲示板を利用して朝の会議の時間を減らす★ 会議などで話し合う時間をきちんと決める(学年での話し合いの場なら学年主任)★ 終礼を取り入れ、互いに情報共有できる時間をとる★ 保護者からの電話の受付は6時までとする★ 配布物の取捨選択をする★ 部会で話し合ったことを会議で共有しようとするのは、二重に時間がかかるのでやめる★ 市教育委員会訪問のために用意する資料を減らす(そのためだけに作成する資料がある) 必要最小限でこなすか、ほどほどにするか、自分で優先順位をつけて取り組む★ </p> | <p> 定時の帰宅を意識する★ こだわりを捨てる★ これまでの伝統にとらわれず、意識改革に取り組む★ 管理職が意識しながら回りを見守る★ </p> |
| 中期的に取り組むこと | <p> 「書き込み君」をサイボウズで配布 市内の学校が教材の共有をできるように支援(サイボウズで) 市内の学校の、遠足の行き先を一覧にして共有(行き先で悩んだり下調べしなくていいように) 給食の配膳時の失敗を予防するため、食缶やワゴン等の改善をする 給食の見守りを地域ボランティアさんをお願いする 評価基準表を市内で統一する 体験授業を精査する(茶道体験など手間がかかる) 手書きの書類(出席簿、成績処理、指導要録、健康診断)をデータ化できるようにする 校務を分担、洗練する(多くの人がいろんな役を担うのではなく、少ないメンバーで責任をもってやる)★ 要録・通知表・出席簿などの電子化をすすめる 電子化など時短につながるスキルの研修を実施する </p> | <p> パソコンの能力をあげる 地域との繋がりをつくり、地域の人との協力を得る(地域ボランティア) 複数体制で取り組めるようにする(引継ぎの手間を省く)★ </p> |
| 時間をかけて検討する必要があること | <p> 保護者対応の時間を減らす 避難所の開設先の精選(開設するのは大変なのでもっと集約してほしい) 提出する報告書、アンケートを減らす 交通安全指導やパトロールは大事だが時間がかかる </p> | <p> 部活なしの日を設ける 教職員がやらなくてもいいものは業者をお願いする(経理、書類、総務、そうじ、給食、草刈、戸締り、修繕など) スクールロイヤーを取り入れる 特別支援学級の常勤、生活指導のプロなど、専門家を取り入れる </p> |

★教職員が主体的に取り組むこと

3. 長時間労働を脱出する！ための〇か条

長時間労働を解決するための第一歩として、それぞれが意識を持つために、各班で「長時間労働を脱出する！ための〇か条」をまとめた。

【小学校教職員1班】

1. 帰ろう！
（帰れるときは）

2. 決めよう！
（会議の時間）（必ず終わる）

3. 見直そう！
（校務分掌）（少人数化）

4. 情報交換
各校のアイデアをシェア

【小学校教職員2班】

- 1. こだわりを捨てる、意識改革**
- 2. 定時退庁に取り組む(市で一斉)**
- 3. 伝統・例年に縛られない**
- 4. 職員会議・研修を月1にまとめて**
- 5. 管理職は融通をきかせて、見守ってほしい
(留守番電話)**

【中学校教職員】

- 1. こだわりを捨てる(優先順位)**
- 2. 情報を共有する**
(教材やデータ・人材等)
- 3. 帰宅時間を決める**
- 4. 遅い時間の電話はとらない**

資料

1 ワークショップ当日スライド

第1回目

第2回目

第3回目

ワークショップ当日スライド（第1回）

教職員の働き方改革に関する ワークショップ

第1回目

自己紹介 「アルパックです」

- 株式会社 地域計画建築研究所、通称アルパックです。
- 行政計画をつくる支援がメインで、市民活動・まちづくりの応援、市民参加の場の運営なども
- 社会課題の解決に向け、幅広く取り組んでいます



小学生向け豊橋
学習プログラム

全体の流れ（予定）

| | |
|-----|---|
| 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> チームビルディングをする 理想や現実をふりかえる 課題をあらいだす |
| 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> 問題構造を「見える化」する |
| 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> アイデアを考える 取組み時期で整理する |

※変更の可能性あり

本日の進め方

- チェックイン、アイスブレイク「教室あるある」
- 二人組で各自の「やりがい」や、「理想」と「現実」のギャップを語り合うワーク【ペアのワーク】
- グループ再編（席替え）—
- 課題出しと整理【グループワーク】

「チェックイン」

- ワーク・対話に入る前に、各自がその時の心境を率直に語る（手短に）。
- ワークでの意見交換にスムーズに取り組めるようにする。
- 期待、不安、考えていること、などなんでも。
- （ウケねらい、見せかけの気持ちは不要）
- 気持ちの準備ができた人から。

アイスブレイク「教室あるある」

| | |
|---|---|
| 自分の名前 (ニックネームOK) | あるあるネタ① ・わざとやってこなかったくせに「宿題忘れしました」と言う |
| あるあるネタ② ・子どもが書いたにはは うますぎる「夏休みのポスター」 | あるあるネタ③ ・・・ |

ワーク① 「想い」と「現実」のギャップを話し合う

- ペアになり、互いに話しを聞き合う（メモも取り合う）
- テーマは、「教師になりたての頃やそれ以前に描いていた想いや目標」、「現在感じているやりがい」、「実際に働いてみて意外に思ったこと」、「現在うまくいかないと感じていること」など
- 前半に話す人、後半に話す人を決める（各10分ずつ）
- 一聞く人は、話す人の「ストーリー」を書き留める気持で、時には掘り下げるような質問もオススメ（メモは終了後相手に渡してあげる）

ワーク② 課題だしと整理

- 先ほど話したことなどをもとに、働き方の課題と考えることをポストイットに書きだす
- 進ったら書く、幅広くに出していく、なるべくたくさん
- ※赤いポストイットに、1まいに1つの事柄だけ、ペンで大きな字で

ワークショップ当日スライド（第1回続き）

ワーク② 課題だしと整理

- だいたい出そろって来たら
- ①似ているものを近くに貼りなおして、内容を整理する
- ②似ているものの集まりに、名前（テーマ）をつける
- ※「とりあえず」で作業を進めて、修正すればいい（正解はない）
- ③先生の働き方にはどんな課題があるのか確認、ほかにもないかチェック
- （約20分で）

発表

- グループごとに
- どんな課題が出てきたのか、簡単に
- 前半の、ペアでの「語り合い」で、印象に残ったことも添えて

「チェックアウト」

- ワーク・対話の終了後に、各自が感想や学んだことなどを率直に語る（手短かに）。
- ワークで感じたことを共感したり、学びを他者と共有するため。
- 気持ちの準備ができた人から。

ワークショップ当日スライド（第2回）

教職員の働き方改革に関するワークショップ

第2回目

全体の流れ（予定）

| | |
|-----|---|
| 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディングをする ・ 理想や現実をふりかえる ・ 課題をあらいだす |
| 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を洗い出し、整理する ・ 対策を考える |
| 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアを考える ・ 取組み時期で整理する |

※変更の可能性あり

本日の進め方

- 「チェックイン」/ アイスブレイク「時間グラフ」
- 前回の振り返り
- 仕事の洗い出し、仕事を整理・分類
- 対策を考える

「チェックイン」

- ワーク・対話に入る前に、各自がその時の心境を率直に語る（手短に）。
- ワークでの意見交換にスムーズに取り組めるようにする。
- 期待、不安、考えていること、などなんでも。
- （ウケねらい、見せかけの気持ちは不要）
- 気持ちの準備ができた人から。

アイスブレイク「時間グラフ」

2つのグラフを描いてください
左には「現実の24時間」
右には「理想の24時間」

「先生が忙しすぎる」をあらためない (結果最良)

前回の意見 見取り図

○仕事が多すぎる
 ・ (授業・準備・アンケート、保護者対応・外担対応、個別指導・・・) 小学校
 ・ (部活動対応、) 中学校
 ○本当に教員がやるべきなの？という作業がある
 ・ (専門外の仕事・社会計画など、設備管理メンテナンス・・・)
 ○できるならなくしてほしい仕事
 ・ (免許更新の手続き・・・)

○コミュニケーションが取りづらい
 ・ 実態に教員研究について話せない
 ・ 職員室内でいい人間関係を築きにくい
 ・ 早く帰りたい

○仕事環境が快適でない
 ・ パソコンが使いにくい
 ・ エアコン・・・

時間が足りない！

- 教材研究の時間が取れない
- 年休が取れない
- 心を病む先生もいる
- こどもと触れ合う時間がない

前回の意見 見取り図

○仕事が多すぎる
 ・ (授業・準備・アンケート、保護者対応・外担対応、個別指導・・・) 小学校
 ・ (部活動対応、) 中学校
 ○本当に教員がやるべきなの？という作業がある
 ・ (専門外の仕事・社会計画など、設備管理メンテナンス・・・)
 ○できるならなくしてほしい仕事
 ・ (免許更新の手続き・・・)

○コミュニケーションが取りづらい
 ・ 実態に教員研究について話せない
 ・ 職員室内でいい人間関係を築きにくい
 ・ 早く帰りたい

時間が足りない！

- 教材研究の時間が取れない
- 年休が取れない
- 心を病む先生もいる
- こどもと触れ合う時間がない

多忙化の6つの「神話」

神話を疑ってかかり、ときには塗り替えるべし

1. 昔からやっていることだから (伝統、慣習の神話)
2. 保護者の期待や生徒の期待があるから (保護者と生徒期待の神話)
3. 子どもたちのためになるから (学校に求められる神話)
4. 教員はみんな (後援者一先取り) やってやるから (グローバルスタンダード、業種標準)
5. できる人は勝つから (人材確保のための神話)
6. せっかく、わたしが頑張ればよいから (競争心を刺激する学校の神話)

「先生が忙しすぎる」をあらためない (結果最良)

ワークショップ当日スライド (第2回続き)

多忙化の6つの「神話」

神話を疑ってかかり、ときには塗り替えるべし

1. 誰からやっていることだから (印刷、資料の集め)
2. 関係者の関係や立場関係があるから (保護者と生徒会関係のプレッシャー)
3. 子どものためになるから (学校にあるべき業務)
4. 教員はみんな (通知第一主義) やっているから (グループアシスタント、集約授業)
5. できる人は誰か (人材確保の敷かず)
6. けっさよ、わたしが頑張ればよいから (関係性を築く学習の機会)

※本当にその神話はもう有効? 手放さざるを得ないのか? ※その目的、目標のためなら、もっとやり方は異なる方法はないか? または完全に撤廃する必要があるか? ※保護者の声って、それ一顧でしょ? 写しレシート・マジックリタイは別の役割でもかまわない? ※子どものためって具体的に何? 学校側から、なんでも大事になるよ。 ※子どものためと思ってるけど、結果として期待外れや別の機会になっていない? ※子どもも、関係も大事だけど、自分も大事にしなよ。 ※よかつたした問題を壊して、整理整頓は時に必要じゃないことも伝えて、人を責めなよ。 ※それは、道義があるかもしれないけど、是非考え直してやってみよう。

「先生が忙しすぎる」をあらためない (結果目標)

仕事にまつわる問題の洗い出し

- どんな業務や行事に時間がとられている?
- どうしてそんなに時間がとられているのか?
- (例: 会議が非効率で長い、成績処理の方法が煩雑で時間をとる、部活動の時間が長い、お金の取り扱いが時間をとる、など)
- 長時間労働につながっている問題をすべて書き出す

※黄色いポストイットに、1まいに1つの事柄だけ、ペンで大きな字で

仕事を仕分け

必要性: 大 ← → 小

仕事を仕分け

必要性: 大 ← → 小

仕事を仕分け

必要性: 大 ← → 小

ある程度必要性が高い

見直せる余地

①思い切ってやめられないか

多忙化への影響

| 見直せる余地 | 見直せる余地が大きい | 見直せる余地が少しある | 見直せる余地がほとんどない |
|---------------|--------------|-------------|---------------|
| 対応するのには余裕が大きい | 余裕があるが少し足りない | 余裕がほとんどない | 余裕がない |
| 準備期間が長い | 準備期間が少し長い | 準備期間が短い | 準備期間がほとんどない |
| 準備期間が短い | 準備期間が少し短い | 準備期間が長い | 準備期間がほとんど長い |
| 準備期間が長い | 準備期間が少し長い | 準備期間が短い | 準備期間がほとんどない |
| 準備期間が短い | 準備期間が少し短い | 準備期間が長い | 準備期間がほとんど長い |
| 準備期間が長い | 準備期間が少し長い | 準備期間が短い | 準備期間がほとんどない |
| 準備期間が短い | 準備期間が少し短い | 準備期間が長い | 準備期間がほとんど長い |

仕事を仕分け

必要性: 大 ← → 小

ある程度必要性が高い

見直せる余地

①思い切ってやめられないか

多忙化への影響

見直せる余地があり、多忙化への影響が大きいものを優先的に見直す

どんな対策があり得るか?

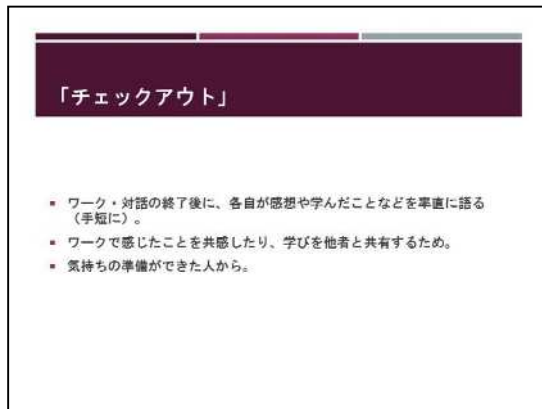
- ①他の誰かにやってもらえないか (※赤のポストイット)
- 誰にどう分担してもらうか
- 岡山県の事例: 「教師業務アシスタントの活用」
- 先生たちの業務の一部を手伝う (印刷代行、学校徴収金事務など)
- ②教員がやる仕事 → どう生産性を高めるか (※青いポストイット)
- 事例: 自己評価カードのコメント記入方法を、チェックボックスに、こどものモチベーションもアップ

「実現できそうか、できなさそうか」は置いておいて、アイデアを書き出す ※正解はないので、思いついたことを素直に表現してください

発表

- グループごとに
- どんな課題が出てきたのか、簡単に
- 前半の、ペアでの「語り合い」で、印象に残ったことも添えて

ワークショップ当日スライド（第2回続き）



「チェックアウト」

- ワーク・対話の終了後に、各自が感想や学んだことなどを率直に語る（手短かに）。
- ワークで感じたことを共感したり、学びを他者と共有するため。
- 気持ちの準備ができた人から。

ワークショップ当日スライド（第3回）

教職員の働き方改革に関するワークショップ

第3回目

全体の流れ（予定）

| | |
|-----|--|
| 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・チームビルディングをする ・理想や現実をふりかえる ・課題をあらいだす |
| 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を洗い出し、整理する ・対策を考える |
| 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを考える |

※変更の可能性あり

本日の進め方

- 「チェックイン」/ アイスブレイク
- 前回の振り返り
- アイデア出し
- 「チェックアウト」

「チェックイン」

- ワーク・対話に入る前に、各自がその時の心境を率直に語る（手短に）。
- ワークでの意見交換にスムーズに取り組めるようにする。
- 期待、不安、考えていること、などなんでも。
- 〈ウケねらい、見せかけの気持ちは不要〉

アイスブレイク「タイムテーブル」

スケジュール イメージ

- 勤務時間のタイムテーブル（目標）を作成しましょう（出勤してから帰宅するまで）
- 【やり方】
- やるべきことをリストアップ。いつ、どれくらいの時間をかけるか計画。一日に収まりきらなさそうなら、優先順位をつける。
- 【お題】
- 「本日のスケジュール」

| スケジュール イメージ | |
|-------------|-------------|
| ＜本日の予定＞ | |
| 9:00-10:00 | 部内会議 |
| 10:00-11:00 | Aプロジェクト資料作成 |
| 11:00-11:30 | B社電話・メール返信 |
| 11:30-12:15 | C会議資料作成 |
| 12:15-13:00 | 昼食 |
| 13:00-13:20 | 部長の決意をいただく |
| 13:30-14:45 | D会議 |
| 14:45-15:30 | メール確認 |
| 15:30-16:30 | E会議資料作成 |
| 16:30-17:00 | Fさんに相談 |

<https://workkoo.com/time-management-for-td/>

【前回】仕事の仕分け

【前回】仕事の仕分け

アイデア出し

- **①工夫できそうなこと**
- 一明日からでも取り組めることは何か考える

【視点】

- 一人ですること
- 教員仲間で共有し一緒に取り組むこと

1回目に出した課題も確認

- 一人で「宴なごだわり（フォントとか）をやめる」「時間を区切る」
- 教員仲間で「助け合い」「引継ぎ時の混乱」「コミュニケーション」

【ヒントにすること】

- すでに自分が心掛けていること
- 各校で工夫していること

ワークショップ当日スライド (第3回続き)

アイデアだし

事例：自己評価カードのコメント記入方法を、チェックボックスに、こどものモチベーションもアップ

アイデアだし

- ①工夫できそうなこと
- 一明日からでも取り組めることは何か考える

【視点】
一人のできること
教員仲間で共有し一緒に取り組むこと

●一人で
1回目に「要なごだわり（フォントとか）をやめる」「時間を区切る」
確認も ●教員仲間で「助け合い」「引継ぎ時の混乱」「コミュニケーション」

【ヒントにすること】
すでに自分が心掛けてのこと
各校で工夫していること

長労働時間を脱出するための○カ条にまとめる

アイデアだし

- ②ほかの人にやってもらえないか
- 一どんな人にどういう風に分担してもらうか、具体的に考える
- 岡山県の事例：「教師業務アシスタントの活用」
- 先生たちの業務の一部を手伝う（印刷代行、学校徴収金事務など）

- ③見直しが難しいこと（保護者対応、生徒指導）
- すぐには見直しは難しいが、あきらめない
- アイデアがあれば書く

アイデアだし

見直せる余地

見直しは難しい 余地は少しはある 見直せる余地が大きい

①一人のできること
教員仲間で一緒に取り組むこと
一長労働時間を脱出するための○カ条

②ほかの人にやってもらえないか？
一長期的に検討

③保護者対応
生徒指導
一長期的に検討

①工夫できそうなこと
一明日からでも取り組めることは何か考える

多忙化への影響
大
中
小

②どんな人に
どういう風に分担
してもらうか

③見直しは難しいが、
あきらめない
アイデアがあれば書く

発表

- グループごとに
- 仕事の仕分けの結果
- でてきたアイデアの概要
- 「長労働時間を脱出するための○カ条」

「チェックアウト」

- ワーク・対話の終了後に、各自が感想や学んだことなどを率直に語る（手短に）。
- ワークで感じたことを共感したり、学びを他者と共有するため。